年間学習指導計画作成資料 第2学年

大きな学習の流れ	題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数の めやす
 友達と声を合わせて歌ったり遊んだりして、学習への意欲を育てるようにする。 音楽を聴いたり歌ったりして、拍の流れを感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようにする。 	うたで ともだちの わを ひろげよう	・音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようにする。・友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。	いろいろな くにの ことばで うたいましょう。 いろいろな くにの うたで あそびましょう。 みぶりを つけて うたいましょう。	みんなで 1 · 2 · 3 の ロンドンばし/こめ むぎ あそびうた/おちゃらか ほい/小犬の ビンゴ かくれんぽ えがおで きょうも	10
		 歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ったり、音高感を身に付けたりすることができるようにする。 階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。 	ドレミの たいそうで あそびましょう。 ドレミの 音の たかさを おぼえましょう。 ドレミで うたったり がっきで ひいたり しましょう。 2 つの くみに わかれて えんそうしましょう。 うたに あわせて がっきを ひきましょう。	◎ ドレミの うた ドレミあそび かっこう かえるの がっしょうぷっかり くじら	14
 ・拍の流れに合わせてリズムを表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付けるようにするともに、育心をもって聴いたり演奏したりして音色に対する感覚を育てるようにする。 ・楽曲の気分を感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。 	を演 D基 Saよ り ズムに のって あそぼう 話に D演	・リズム譜に親しみ、拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。・拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、身体表現をしたり演奏の仕方を工夫したりすることができるようにする。	音がくに あわせて からだを うごかしましょう。 3 びょうしの リズムに のって あそびましょう。 2 びょうしの リズムに のって えんそうしましょう。 リズムを くみあわせて あそびましょう。 リズムに のって からだを うごかしながら うたいましょう。	● トルコ こうしんきょく/メヌエット いるかは ざんぶらこ 山の ボルカ リズムあそび ピラミッドの うた	12
	いい 音を 見つけて あそぼう	・音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。・音色の違いを生かして音の組み合わせ方を工夫したり、拍の流れに乗って演奏したりすることができるようにする。	いろいろな 音に 気を つけて ききましょう。 すきな 音を 見つけましょう。 音の くみあわせを かんがえて あそびましょう。	虫の こえシンコペーテッド クロック 音さがしかぼちゃ	 8
		・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようにする。	小犬と さんぽして いる ようすを おもいうかべながら ききましょう。 小ぎつねの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	夕やけこやけ回ぶえふきと 小犬小ぎつね	8
・これまでの学習を生かし て、友達と一緒に歌った り楽器を演奏したりする 楽しさを感じ取るように する。	った する みんなで あわせよう	・楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。・互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏することができるようにする。	いろいろな がっきの 音に 気を つけて ききましょう。 うたと がっきを あわせて えんそうしましょう。 きれいな 音で がっそうしましょう。 たがいの こえを ききあって うたいましょう。	森の音がくかいえがお かがやいてこぐまの 二月木のはの ゆうびん	 14
	のびのびと うたおう	発音や声の出し方に関心をもって歌ったり、みんなで声を合わせて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。	みんなで こえを あわせて うたいましょう。	うたえ バンバン ● はるが きた	4
巻 末 ものがたりと 音が		- 各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教 材。		タ日/とんぼの めがね/シャボン玉ないた 赤おに	
				きみがよ	時数 70